

# 平成30年度 学校経営計画 足立区立中川東小学校

学校長 豊 田 純 子

## 1 学校教育目標

- やさしい子
- かしこい子
- たくましい子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小</li> <li>○子供たちにとって大好きな学校、未来に亘って居場所となる学校</li> <li>○教師にとってやりがいをもって教育に取り組める学校</li> <li>○保護者や地域にとって誇りに思える学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎やさしく かしこく たくましい子</li> <li>○誰とでも仲良く分け隔てなく接する子</li> <li>○よく考え、進んで学ぶ子</li> <li>○心身を鍛え、様々なことに挑戦する子</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子供たちを愛し、子供たちを伸ばし、教育への情熱を燃やす教師</li> <li>○常に子供の心の傍にいて、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に伸ばす教師</li> <li>○「教師は授業が命」と授業づくりに熱心に取り組む教師</li> <li>○広い視野と豊かな感性をもち、人間味にあふれた教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

〔学校の現状〕

○児童について

素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題には一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。区学力調査からは、基礎的基本的な学習内容の定着が不十分であることが分かる。学力向上の取り組みに力を入れていく。

○教師について

新規採用教員や教職経験の浅い教員（6年未満）が教員の約5割である。若手を育てるベテラン教員と共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切にした教育活動を推進している。休み時間は全員が外に出て児童と一緒に遊ぶ姿が見られ、常に児童と共にある教師集団である。「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に全力で努めている。

○保護者・地域について

地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」を中心とした保護者・地域の方々が積極的に教育活動に協力をしてくれている。「あだち放課後子ども教室事業」の「きらりクラブ」の活動も定着している。今後も保護者・地域の方々との連携を深め、共に「地域に育つ子供たち」を育てていく。

〔前年度の成果と課題〕

○児童の学力向上を図る。

管理職による日々の授業観察・教科指導専門員による訪問指導・校内研究における研究授業等を通して、常に授業をオープンにすることで教員の授業力向上が図られてきた。また、花丸教室・特別花丸教室（放課後補習教室）やパワーアップタイム（朝学習）の地道な取り組みの徹底で、児童の学力向上を図り成果が表れてきた。区学力調査の目標通過率は77.9%であった。今後はさらなる基礎・基本の定着を図るべく授業改善に取り組んでいく。新学習指導要領を全教職員で理解し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組む。家庭学習・自主学習の定着にも力を入れて取り組む。

○児童がより安全に、安心して学ぶことができる環境を確立する。

いじめ防止委員会を定期的・即時的に開催することで、いじめの早期発見・早期解決を図ってきた。「一人一人を大切にする教育」に力を傾注し、いじめ相談箱やHyperQ-U検査を活用したいじめの未然防止にも努めた。いじめ解決率は100%である。計画的な安全指導・日々の安全点検・改善を通して、安全管理を徹底できた。日頃の避難訓練を、実際に中川水害の際の避難所運営に生かすことができた。校舎外壁及びトイレの改修工事・体育館照明工事を無事終え、教育環境を整えられた。来年度の創立40周年に向けて、教育環境のさらなる充実を目指していく。

○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

保護者からの学校評価アンケートの声をよりよい学校づくりに生かしてきた。前年度は特に、通信やHP等の学校からの情報発信に力を入れてきた。その結果、保護者や地域とのコミュニケーションが深まり、心の通った連携が築かれてきている。家庭学習の取り組みへの呼びかけの効果もあり、家庭学習の定着が見られる。地域とは「開かれた学校づくり協議会」を中心に連携を深めてきた。幼保小中高という18年間の長い成長スパンをもった交流を地域レベルで展開できた。忙しく働いている家庭が多い中、「共に育てていく」という土壌をより耕していきたい。

#### 4 重点的な取組事項

番号	内容	実 施 期 間				
		28	29	30	31	32
1	教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。	○	○	○	○	○
2	児童が安心して学べる教育環境を整える。	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。	○	○	○	○	○

#### 5 平成30年度の重点目標

重点的な取組事項－１		教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。	
A 今年度の成果目標		平成３０年度区学力調査 目標通過率（学校平均）	
児童の学力向上を図る。		目標通過率 80％以上を目指す。	
B 前年度の取組み内容			
項目		具体的な方策	
小中連携により教員の授業力を向上させることで児童の学力向上を図る。		教科部会ごとに「主体的・対話的で深い学び」をテーマとして授業研究を行う。	
板書計画・ノート指導の改善 補習教室・そだち指導の充実		足立スタンダードによる授業を徹底する。 S P 表や学力ポートフォリオを活用し児童への指導に生かす。	
楽しく、挑戦したくなる 授業の創造		「主体的・対話的で深い学び」の推進と若手教員の育成を推進する。	
家庭学習に対する保護者の意識の 向上と啓発		家庭学習カード活用率の向上を図る。 学力ポートフォリオ個票を活用し、児童の学習状況を保護者に伝えていく。	

## C 前年度の成果と課題

(成果)

- ・区学力調査 目標通過率 77.9%を達成。昨年度比 1.1%△
- ・第十二中学校・大谷田小学校・長門小学校との小中連携を通して、授業力と専門性の向上を図ることができた。
- ・校内研究（社会科・生活科）による授業力向上と組織的研究のレベルアップを図ることができた。
- ・足立スタンダードを徹底することで、若手教員における授業スタイルの確立・定着が見られた。
- ・そだち指導（第3・4学年対象児童）の充実による個に応じた学力の底上げを図れた。
- ・パワーアップタイム（朝学習）・花丸教室（放課後補習教室）を全教職員による組織的取り組みで徹底することができた。
- ・個々の児童の学力の推移や弱点の把握をSP表・学力ポートフォリオにより行い、授業改善に活用することができた。
- ・MIMの取り組みにより特殊音節の指導が効率的にできた。
- ・家庭学習カードの内容や活用方法を工夫することで、家庭学習の習慣化が学習意欲の向上につながった。

(課題)

- ・区学力調査 目標通過率（77.9%）が目標の80%以上に届かなかった。
- ・新学習指導要領の理念を全教職員で理解し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努める必要がある。校内研究・小中連携・区や都の研究会への積極的な参加等を通して、授業力向上に努めていく。
- ・足立スタンダードのさらなる定着とスタンダードにとどまらない授業展開の追究が必要である。
- ・学力ポートフォリオを活用した放課後補習教室の指導内容の精選と指導体制の強化を図る。
- ・家庭学習に対する保護者のさらなる意識の向上と自主学習の定着と充実を図る必要がある。

## D 今年度の目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
<b>別紙</b> <b>「平成 30 年度 学力向上アクションプラン」参照</b>		

### 重点的な取組事項－2

児童が安心して学べる教育環境を整える。

### A 今年度の成果目標

#### 達成基準

児童にとって安全・安心な学校生活を確立する。

学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答 90%以上

### B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
いじめのない学校生活の充実	いじめ解決率 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止委員会の機能強化</li> <li>・いじめ相談箱や HyperQ-U 検査によるいじめの早期発見・早期解決</li> </ul>
子供の心を育てる 教育活動の充実	「生活指導・特別活動に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班活動の活性化・充実</li> <li>・「人とのかかわる活動」の意図的・組織的展開（挨拶・交流等）</li> <li>・教科化された道徳の授業内容の充実</li> <li>・人権尊重教育の徹底</li> </ul>
安全・安心な学校の維持	「学校施設の安全に関する項目」： 肯定的な回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の施設点検の徹底</li> <li>・施設の不備に関する早期改修</li> <li>・トイレの全面洋式化</li> <li>・創立 40 周年に向けた環境美化</li> </ul>

<b>重点的な取組事項－３</b>		保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
保護者や地域との連携を図り、教育活動を充実する。		学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>		
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>
保護者との共育体制の確立	学校公開参観率・保護者会出席率 75%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開・保護者会の内容刷新</li> <li>・通信・HP等による情報発信の充実</li> <li>・PTAとの交流行事の活性化</li> </ul>
「開かれた学校づくり協議会」を中心として協働体制の確立	「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年教育活動との連携充実</li> <li>・地域人材の新規発掘及びリスト化</li> <li>・各部活動の保護者向け紹介・周知</li> </ul>
子供の夢を育む周辺教育施設との連携体制の確立	「幼保小中高との連携に関する項目」：肯定的な回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園保育園との日常的交流の充実</li> <li>・小中連携の強化</li> </ul>